

人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学総合科学教育研究センター（国際地域保健学）では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成29年7月 福島県立医科大学総合科学教育研究センター
教授 後藤あや

【研究課題名】 幼児を持つ父親のボンディングの実態と関連要因

【研究期間】 平成29年7月倫理委員会承認後～平成35年3月

【研究の目的・意義】

1. 研究の目的

本研究では、幼児を持つ父親の子どもへのボンディングの実態と関連要因を明らかにすることを目的としています。本研究から得られた結果に基づき、父親の育児支援の実践につながる父親の育児支援におけるボンディングの重要性とボンディング障害を予防しボンディングを高めるための支援策について検討します。なお、本研究は福島市との共同事業として行います。

2. 研究の意義

- 1) 本研究成果は、疫学的エビデンスの蓄積が乏しい父親の児へのボンディングの実態と関連要因を明らかにする点において、学術的新規性があります。
- 2) 自治体における育児困難や虐待の予防等の緊急課題に対し、本研究の知見に基づく主に父親の育児支援による解決策を提案することができます。
- 3) 本研究結果は、報告書を作成するほかに保健師を対象として報告会で報告します。このことにより、専門職の知識向上が期待できます。

【研究の方法】

1. 研究対象：福島市居住の4か月児健康診査を受診する児を持つ父親を対象としています。

2. 調査期間：平成29年7月倫理委員会承認後～平成30年3月

3. 試料・情報の項目：主な項目は以下のとおりです。

1) 属性

- ・児の特徴（性別、出生体重、出生週数等）
- ・親の特徴（年齢、健康状態、妊娠期・産褥期の状況）、家族構成（核家族・拡大家族）、親の就労状況、ヘルスリテラシーのレベル（Tokuda et al, 2011）、母親の育児状況、仕事の量的負担（川上ら, 2012）

2) 父親の育児状況（21世紀成年縦断調査, 2012）

- ・お子さんの育児にあたって、育児休業を取得されていますか等

3) 心理的要因

- ・妊娠時の気持ち（子育てアンケート, 2005）等
- ・赤ちゃんへの気持ち（鈴宮ら, 2003）等

4) 社会的要因

- ・お母さん、お父さんで育児や家事を協力して行っていますか等

4. 試料等の利用方法：統計ソフトを用いて以下のとおり行う。

- ・すべての項目について単純集計を行う。

- ・父親のボンディングに関連する要因を多変量解析を用いて分析する。

【研究組織】

研究責任者：（所属）総合科学教育研究センター （職）教授 （氏名）後藤あや

主任研究者：（所属）医学研究科国際地域保健学 （職）大学院生（氏名）吉田和樹

分担研究者：（所属）医学部健康リスクコミュニケーション学講座

（職）准教授 （氏名）村上道夫

（所属）埼玉学園大学（職）准教授 （氏名）佐々木美恵

（所属）福島市こども未来部こども政策課

（職）主任保健師 （氏名）佐藤香代子

(所属) 医学研究科国際地域保健学

(職) 大学院生 (氏名) 照井稔宏

(所属) 国際地域保健学

(職) MD-PhD (氏名) 藤田英美子

【研究者が保有する個人情報について】

本研究は匿名化されたデータを取り扱うため、依頼者個人を特定したデータは開示できません。

研究者が保有する個人情報に関し、研究対象者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書を交付しますが、交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

【本研究に関する問い合わせ先】

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。なお、開示等を行う場合、請求者には文書を交付しますが、交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

○研究内容に関する連絡先

*主任研究者

吉田和樹（大学院生）

公立大学法人福島県立医科大学大学院医学研究科国際地域保健学

〒960-1295

福島県福島市光が丘1番地

電話：024-547-1835

E-mail:kazuki-y@fmu.ac.jp